

平成30年第4回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

平成30年12月5日（水曜日）午前10時0分 開会

※開会宣告

※開議宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 閉会中の委員会付託事件〔第50号議案及び第51号議案〕
(委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論・表決)
- 日程第4 第53号議案から第61号議案まで、及び報第10号
(提案理由説明)

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（18名）

- | | | |
|------|-----|-----|
| 1 番 | 安 達 | かずみ |
| 2 番 | 中 尾 | 勉 |
| 3 番 | 黒 田 | 健 一 |
| 4 番 | 甲 斐 | 明 美 |
| 5 番 | 井ノ口 | 憲 治 |
| 6 番 | 阿 部 | 輝 之 |
| 7 番 | 土 谷 | 信 也 |
| 8 番 | 近 藤 | 紀 男 |
| 9 番 | 成 重 | 博 文 |
| 10 番 | 安 達 | 隆 |
| 11 番 | 松 本 | 博 彰 |
| 12 番 | 河 野 | 徳 久 |
| 13 番 | 安 東 | 正 洋 |
| 14 番 | 北 崎 | 安 行 |
| 15 番 | 河 野 | 正 春 |
| 16 番 | 山 本 | 博 文 |
| 17 番 | 菅 | 健 雄 |
| 18 番 | 大 石 | 忠 昭 |

○欠席議員（0名）

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	安 田 祐 一
総括主幹兼庶務係長	黒 田 祐 子
主幹兼議事係長	板 井 保 明

主任主査

小 門 敏 宏

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市 長	佐々木 敏 夫
副 市 長	堤 隆
市参事兼総務課長	佐 藤 之 則
財 政 課 長	飯 沼 憲 一
企 画 情 報 課 長	丸山野 幸 政
地域活力創造課長	川 口 達 也
税 務 課 長	土 谷 恒 男
市 民 課 長	近 藤 幸 一
保 險 年 金 課 長	大久保 正 人
社 会 福 祉 課 長	植 田 克 己
子育て支援課長	水 江 和 徳
健 康 推 進 課 長	清 水 栄 二
人権・同和对策課長	田 染 定 利
環 境 課 長	後 藤 史 明
商 工 観 光 課 長	河 野 真 一
農業ブランド推進課長	藤 原 博 文
市参事兼耕地林業課長	都 甲 賢 治
建 設 課 長	永 松 史 年
上 下 水 道 課 長	早 尻 真 一
会計管理者兼会計課長	尾 形 稔
農業委員会事務局長	佐々木 真 治
選挙管理委員会・監査委員事務局長	
	藤 重 深 雪
地域総務二課長兼水産・地域産業課長	
	大 力 雅 昭
消 防 課 長	宗 高 徳
総務課 課長補佐兼総務法規係長	
	小 野 政 文
総務課 課長補佐兼秘書係長	
	都 甲 さおり
教育委員会	
教 育 課 長	河 野 潔
教育総務課長兼地域総務一課長	
	安 藤 隆 治
学 校 教 育 課 長	小 川 匡
文 化 財 室 長	板 井 浩

○議長（安達 隆君） 皆さん、おはようございます。ただ今の出席議員は18名で、議員全員の出席であります。

12月5日

よって、平成30年第4回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

○議長（安達 隆君） この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承を願います。

○議長（安達 隆君） これより、本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承を願います。

○議長（安達 隆君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に1番、安達かずみ君及び2番、中尾勉君を指名いたします。

○議長（安達 隆君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月20日までの16日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（安達 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から12月20日までの16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付してあります会議予定表のとおりであります。

○議長（安達 隆君） 日程第3、閉会中の継続審査となっております、お手元に配付してあります閉会中の継続審査結果表の第50号議案及び第51号議案を一括議題といたします。

これより委員長報告を求めます。

決算審査特別委員長、近藤紀男君。

○決算審査特別委員長（近藤紀男君） 決算審査特別委員長報告を行います。去る10月19日、決算審査特別委員会を開催し、継続審査となっております決算議案2件の審査を終了いたしましたので、その結果を報告いたします。

第50号議案平成29年度豊後高田市歳入歳出決算の認定について及び第51号議案平成29年度豊後高田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを一括議題とし、審査を行いました。

3名の委員から質疑が出され、その主な質疑の内容につきましては、敬老会事業の事業効果について、林道の維持管理事業の今後の取り組みについて、地域おこし協力隊推進事業の事業効果について、長崎

鼻パーフェクトビーチ整備事業の効果と今後の取り組みについて、都市圏観光誘客対策事業の事業効果についてなどです。

執行部からは、各質疑に対し、詳しく説明がありました。

第50号議案及び第51号議案については、反対の討論がありました。

審査の結果、第50号議案及び第51号議案については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり、認定すべきものと決しました。

以上で、決算審査特別委員会審査結果の報告を終わります。

○議長（安達 隆君） 以上で、委員長の報告を終わります。

これより、ただ今の委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（安達 隆君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

18番、大石忠昭君。

○18番（大石忠昭君） 皆さん、おはようございます。日本共産党の大石忠昭でございます。私は日本共産党市議団を代表いたしまして、第50号、第51号議案について反対討論をいたします。

最初は、2017年度の一般会計の決算議案についてであります。

2017年度は、4月の市長選で永松市長が後継者として擁立をした候補との激しい争いになりましたが、佐々木市長が誕生した初年度の決算議案であります。

佐々木市長は、昨年6月の就任後の初議会において、公約に掲げた市長みずからの退職金をゼロにする条例案、さらには、みずからの給料を半額にする条例改定議案を提案をいたしました。

ところが、2人の議員から給料を半額に減額することはいかがなものかと、半額ではなくて2割削減に修正する議案が提案されました。

共産党市議団は、市長提出の半額に減額する原案に賛成討論、修正案には反対討論を行い、各議員に賛同を呼びかけましたけれども、残念ながら6対11で修正案が可決されて、今回の17年度の決算には、市長の給料は2割削減の給料となっております。

さらに佐々木市長は、就任後、宇佐・高田・国東

の広域ごみ処理場施設の建設、それから管理、運営についての入札予定価格は267億円と、これが高すぎることを指摘をし、見直しを求めて尽力をされてきました。

3市における世論の高まりの中で、ことし2月19日に広域議会で前の永松前市長時代から議論してきた、そして入札を実施したその結果の業者と契約をする議案が提案されましたけれども、この契約議案は否決をされ白紙となりました。それに伴い、この予算の豊後高田市が広域事務組合に負担する負担金は約8,000万円の減額の決算となっています。

さらに佐々木市長は、永松市長時代に計画をされておりました各種事業の見直し、特に草地のごみ処理施設の補修費、それから旧市役所や旧農協跡の公園の整備事業、そしてケーブルテレビの告知端末機器等の更新事業などなどの事業の見直しを行って、約8億円の事業費の節約となっております。これらの点につきましては、日本共産党市議団といたしましても、当然、同意するものであります。

さらには、佐々木市長の新規事業としての子育て支援拠点施設として、花っころム真玉、花っころム香々地の設置、それから骨髄などの提供者、ドナー及びドナーを雇用している事業所に休業期間の助成を行う支援事業の実施、それから胃がん検診で、これまで任意の検査であったものを、胃内視鏡検査を制度化するように検診事業の拡充、そして高校生までの医療費完全無料化に向けてのシステムの改修などの所要の整備事業などを実施しておりますけれども、それらの点につきましては、市民の暮らしを守るための事業でありますので、私ども日本共産党は、当然、賛成するものであります。しかしながら、同意できない点もありますので、若干、指摘をし簡潔に討論をしたいと思っております。

消費税が8%に増税された3年目の決算になりますが、8%の増税は各種使用料など市民生活に直結、あらゆる分野に転嫁をされ、市民負担の増大をもたらした決算でありますので、同意できません。なお、来年10月から消費税10%の引き上げ、なんとしても引き上げを阻止することを求めます。

さらに、同和事業における住宅新築貸付資金の長期こげつきにつきましては、今年度16件中のこのこげつき者に対しまして、回収、償還できたのは、わずか5件だけであります。1年間で見ましても、合計で44万8,000円だけあります。そのために11件の償還がゼロということになりまして、17年度末で5、

462万円がこげついております。

同じ貸付事業を活用して住宅の新築、改築をしておりますけれども、その中で多くの方は期日までにちゃんと償還を済ましております。しかし、現在で16件の方がいまだに約5,500万円近く、長期にこげついているということは、当初貸し付けた時点で、やっぱり審査が的確に行われたのかどうか問われる問題でありまして、これはやっぱり、これだけのこげつき問題というのは、行政への責任が大きいと思えますし、行政の責任で解決すべきであります。

それから、同和特例団体に対する活動補助金は、やっぱり時限立法、3法が廃止をされたということで、全国的にはこの同和団体に対する補助金が廃止をされる、県内でも調べてみましたけれども、かなりのところで廃止をされておりますし、削減をしております。ところが、豊後高田市の場合は4支部あった支部の内、大きな1支部が解散をしておりますけれども、年間125万円という補助金はそのまま据え置きになっております。

市が交付しております他の団体への団体補助金と比較して見ましても、この組織人員ほんのわずかな、決算委員会に資料が提出されてわかりましたけれども、本当わずかな組織なのに、年間125万円の補助金というのは異状であると思えます。よって、私は特定団体に対する補助金を廃止する、もう同和事業の完全廃止を要求するものであります。

もう1つ、県が事業主体の工事が今も続いておりますけれども、これは県の制度ですけれども、大分県の場合、やっぱり市町村から負担金を徴収しておりますけれども、そういう決算になっておりますので、このことについても県事業に対する負担金の廃止や負担軽減を求めて、このことについては同意できませんので、今回の決算に反対いたします。

次は、国保の特別会計についてであります。

国民健康保険事業は、市民の命と健康を守るための社会保障制度であります。被保険者は自営業者や年金生活者などで、年間の収入に比べてみて国保税の負担というのはあまりにも重すぎる状況にあります。

そのために、今回の17年度の決算を見ましても、国保税の不納欠損額が約1,300万円に上ります。その分を除外しても累積赤字は国保税で約1億3,000万円に上ります。その大きな要因というのは、やはり被保険者の所得に比較してみても国保税の負担が重すぎるからであります。市民は払いたくても払えない、

12月5日

その高すぎる国保税、これをどれだけ引き下げきるかどうか、市長にも私たち議会にも問われている大きな課題だと思います。

全国知事会や全国市長会などの地方団体は、調べてみたら加入者の所得が低い国保税が、他の医療保険よりも保険料が高くて負担が限界になっているということを認めており、国保の構造的な問題だとして、国保を持続可能にするためには被用者保険との格差を縮小するような、抜本的な財政基盤の強化が必要だと主張しています。

そして、全国知事会が高すぎる国保税を協会けんぽ並みに引き下げると、約半額に引き下げると、そのために国が1兆円の公費負担をしようというように要望しております。

そこで、佐々木市長は政府関係機関に対して、国庫負担率をどうかするように働きかけ、さらに一般会計からの繰り入れもして、国保税を引き下げる市民の負担軽減に積極的に取り組むことを市長に要求して、討論いたします。

次は、後期高齢者医療の特別会計についてであります。

後期高齢者医療制度の最大の問題は、75歳以上の高齢者を特別扱いにし、高齢者の医療費が増加すればするほど保険料が上がり続ける差別医療であります。

低所得者に対しては、国民の世論に応じて政府も軽減特例を講じてきました。しかしながら、この決算年度であります17年度からその特例措置を一部廃止をすることになりました。実際には、17年度では低所得者の所得割と元被扶養者の均等割についての特例措置が廃止をされました。そのことにより、今度の決算でも豊後高田では約800万円の保険料の負担増が押しつけられたことになっています。

私は、高齢者を特別扱いする後期高齢者医療制度そのもの、それを私どもは制度に反対しておりますし、そのために今回の決算についても反対をいたします。

次は、介護保険特別会計についてであります。

決算年度は、介護保険第6期計画の最終年度に当たります。5期目の時に、豊後高田の場合は表向きには基準額で月額140円の引き下げをいたしました。ところが、この引き下げはいいんですけれども、問題になったのは、住民税の課税世帯と同居する公的年金が80万円以下の人も、本人だけだったら介護保険は低いんですけれども、いわゆる所得税、住民

税課税世帯と同居している方については、前の年よりは2,800円の値上げとなりました。それから、公的年金120万円から190万円未満の人についても960円の値上げとなりました。

日本共産党は、同じ値下げするならば、この方々についても若干でも値下げしようという修正案を出しましたけれども、否決されてこういう結果になった決算になっております。

介護保険制度は介護サービスの給付者や給付量がふえれば、保険料や利用料が連動してふえるという基本的な矛盾があります。さらに一番大きな問題は、国庫負担の問題なんですけれども、この介護保険制度前につきましては、国が2分の1であったものが、今回は4分の1に国の負担が半分減った問題があります。そのために、高齢者の所得に比べて負担の重すぎる介護保険料や利用料になっております。

このような介護保険の決算でありますので、共産党市議団は反対するものであります。私どもが実施をしました市民アンケートでも、多くの高齢者の皆さんから介護保険料や利用料を引き下げてほしいという切実な要望が寄せられております。

佐々木市長は、政治力を発揮をして国庫負担を引き上げるなど、抜本的な制度の改善を政府に働きかけて、高齢者の介護保険料や利用料の負担が軽減できる、そのために市長が国に向かって国の政治を変える、そういう働きかけをしてもらいたいということを要望して、討論いたします。

最後に、第51号議案の水道決算についてでありますけれども、市民がわずかな水道料金でも3カ月滞納があれば給水をとめると、生活用水をとめるという事態が、そういうことを強行しながら、営業用の多額の滞納者についての滞納の解決は全くされていない状況であります。こういう決算でありますので、私どもは同意できません。

以上で、決算に対する討論を終わりますが、議員の皆さんのご賛同を求めたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長(安達 隆君) ほかに討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(安達 隆君) これにて討論を終結いたします。

最初に、第50号議案を起立により採決いたします。

議席に設置されている可・否いずれかのボタンを押した後に、問題を可とするものは起立をしてください。

お諮りいたします。

本案は、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(安達 隆君) 起立多数であります。

よって、第50号議案については、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに決しました。

次に、第51号議案を起立により採決いたします。

議席に設置されている可・否いずれかのボタンを押した後に、問題を可とするものは起立をしてください。

お諮りいたします。

本案は、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(安達 隆君) 起立多数であります。

よって、第51号議案については、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに決しました。

○議長(安達 隆君) 日程第4、第53号議案から第61号議案まで、及び報第10号を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長(佐々木敏夫君) 本日ここに、第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ち、うれしい報告を申し上げます。

去る11月21日、国土交通省の手づくり郷土賞に、特定非営利法人長崎鼻B・Kネットと本市が協働で取り組んでおります花とアートの岬・香々地の取り組みが、一般部門の手づくり郷土賞に選定されました。

手づくり郷土賞は、良質な社会資本を地域の貴重な資源として見直し、そこに関わった団体の努力を表彰するもので、今年度で33回目を迎える由緒ある賞でございます。

これまで本市では、合併前の平成10年にスパランド真玉の湯前公園が、平成16年には昭和の町が選ばれております。さらに平成23年には、昭和の町が大賞部門でも、再度、同賞を受賞しているところでございます。

ご案内のように長崎鼻での花づくりやアートの取り組みは、長崎鼻の景観を生かし、地域の方々やボランティア団体の皆様に支えられ、今では豊後高田

市の一大観光地として、市外・県外から多くのお客様にお越しいただいております。

今後とも、皆様との連携を深めていながら、資源豊富な長崎鼻を観光の拠点とすべく、努力してまいりたいと考えております。

次に、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、本市の人口動態についてでございます。

ご案内のとおり、本市の人口はここ数年、社会増の状況が続いておりまして、今年も、11月末時点で52人の社会増となっております。また、7月と9月、10月は人口増となっている状況でございます。

これらにつきましては、本市の移住・定住施策をはじめ、子育て、教育環境の整備、魅力の情報発信、並びに健康なまちづくりに努めておりますことが、うまく機能しているのではないかと考えております。

これまで本市は、4年連続の社会増を達成いたしました。今年も、残すところわずかでございますので、5年連続の社会増が見込めるのではないかと考えております。今後も、この結果を励みに、あらゆる施策を総動員して、本市の人口増への取り組みに、全力を傾注してまいり所存でございます。

次に、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭についてでございます。

10月6日から11月25日にかけて、本市でも多くの行事・イベントを開催することができました。企画段階から実施にいたるまで、ご支援ご協力をいただいた関係者の皆様、ボランティアスタッフの皆様方に心からお礼を申し上げます。

中でも、中央公民館で開催したダウン症の書家・金澤翔子さんによる書道パフォーマンスでは、満席となった会場が静まり返る中、力強いパフォーマンスが披露されました。「全ての人々の、幸せを願う気持ちを込めた」という金澤さんの迫力ある作品共に生きるは、現在、市役所高田庁舎1階の正面に展示させていただいております。

また、11月18日の第1回全国健康マージャン交流大会には、北は北海道から南は鹿児島まで、プロ選手を含む200人の雀士の皆さんが一堂に会し、勝負を競い合いました。県外からの参加者が多く、本市の観光も存分に楽しんでいただけたのではないかと考えております。

その他にも花とアートの岬づくりプロジェクト2018や大分方言まるだし弁論大会、昭和の町音楽祭、豊後高田市民文化祭、豊後高田伝統芸能フェスティバルといった多彩なイベントを開催いたしました

12月5日

ころ、目立ったトラブルもなく、円滑にすべての行事を終えることができました。

本大会を通じまして、多くの市民の皆様には様々な体験をしていただくことができ、本市の芸術文化の振興につながったものと確信しているところであります。

次に、観光振興についてでございます。

六郷満山開山1300年の節目を迎えるにあたり、一昨年から誘客キャンペーン実行委員会を立ち上げ、各種プロモーション活動や九州国立博物館での特別展示、ライトアップなど、多種多様なイベントと情報発信に努めてきたところ、六郷満山の各寺院等には、連日多くの参拝客にお越しをいただいております。

実行委員会によりますと、近年のご朱印ブームで、特別に実施している鬼朱印、不動朱印が大変好評でございまして、把握できている今年度のツアー客だけでも5千人を超えておりますし、また、本市の観光動態調査の対象となっております4寺院では、9月、10月の2カ月間で、対前年比6割増の3万人を超えている状況でございます。

10月15日には、中山仙境・夷谷も正式に国の名勝に指定されましたことから、引き続き六郷満山文化を核とした観光振興に取り組んで参りたいと考えております。

また、昨年から急増しておりますインバウンド観光客についてでございますが、昭和の町には、韓国を中心に引き続き多くの団体ツアー客が訪れており、4月から10月末までの実績は、対前年比の約2倍となっております。

このようなことから、現在、スマホを活用して、昭和の町の案内を誰もが気軽に楽しめるように、多言語にも対応する動画の制作を進めているところでございます。

次に、本市の歴史を活かした地域づくりについてでございます。

去る11月4日、戴星学園におきまして歴史小説家・赤神諒氏による、吉弘一族にまつわる講演会が行われました。赤神氏は、九州を代表する戦国大名大友家にまつわる史実をもとにした作品で、昨年、日経小説大賞を受賞された注目の作家でございます。

ご案内のように吉弘一族は、東九州一帯を治めていた大友家の重鎮として、最後まで主君への忠義を貫いた武将として知られております。吉弘統幸につきましては、平成27年のNHK大河ドラマにも取り

上げられました。

赤神氏の2つの作品では、お家騒動が持ち上がった大友家で、吉弘一族が、いかにこの政変を生きたかが興味深く描かれております。

そしてこのたび、次回作といたしまして、吉弘統幸の叔父にあたる高橋紹運を主人公とした作品が、都甲の地を物語の始まりの場所として執筆されるとお聞きしております。大友氏のために、2万を超える島津軍に対し、わずか763名の軍勢で立ち向かい全滅した太宰府の岩屋城の戦いまで、高橋紹運がどう描かれていくのか楽しみでございます。

今後、赤神氏の作品における吉弘一族が注目され、映画やドラマなどのロケ誘致につながればと、心から期待しているところでございます。

次に、御玉市民公園についてでございます。

11月23日、市民の憩いの場となり、さらには楽しく健康づくりができる場といたしまして、これまで整備を進めてまいりました御玉市民公園と御玉健康スポーツ広場が無事完成の運びとなりました。当日は、大分県の安東副知事、高濱商工労働部長をご来賓としてお迎えし、盛大に開園式典を執り行うことができました。

これもひとえに、議員各位をはじめ、関係者の皆様方のご支援ご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

御玉市民公園のお祭り広場には、スマホをかざすと映像が流れるAR技術を活用いたしまして、勇壮な裸祭りやホーランエンヤを紹介する案内看板を設置しております。若宮八幡神社秋季大祭の初日であった開園日には、たくさんのお客様のご利用をいただき、式典に花を添えていただきました。

今後、市民の皆様におかれましては、心身のリフレッシュに加え、健康増進の取り組みに、ぜひ、本公園をご利用いただければと思っております。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

第53号議案の平成30年度一般会計補正予算（第4号）につきましては、12億2,303万5,000円の増額補正で、補正後の予算総額は、162億8,359万8,000円となります。

補正予算の主な内容につきましては、総務費では、前年度決算剰余金に係る法定積立をはじめ、ふるさと応援寄附金の増額分に係る積立金や返礼品などの諸経費等を計上しております。

農林水産業費では、酪農の継続的な営農を確保す

るため、乳牛の増頭実績に応じて助成を行う経費を計上しております。

商工費では、豊後高田昭和の町新拠点施設の整備計画の一部変更に伴う、設計費の増額分を計上しております。

教育費では、生活保護基準の改定に伴う、就学援助費の増額分を計上しております。

災害復旧費では、台風24号により被害を受けた公共土木施設の災害復旧に要する経費を計上しております。

公債費では、将来の公債費負担の軽減を図るため、一定の利率を超える銀行等からの借入に対する繰上償還費を計上しております。

このほか、各費目に給与改定や人事異動等に伴う人件費の補正を計上しております。

また、今回の補正予算では、小・中学校ICT環境整備事業端末購入費の債務負担行為予算を計上しております。これは先般の子ども市議会で要望のありました市内全小・中学校へのタブレット端末の整備に係るものでございまして、本年度早期の運用開始を目指し、準備を進めていきたいと考えております。

第54号議案の平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、公営企業会計システム導入業務委託料について、債務負担行為を設定するものでございます。

第55号議案の平成30年度ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、1億2,543万円の増額補正で、一般会計の公債費と同じく、繰上償還を行うために必要な償還金を計上しております。補正後の予算総額は、8億7,961万1,000円でございます。

次に、予算以外の議案等についてでございますが、各議案等の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてご説明申し上げます。

第57号議案の豊後高田市常勤特別職の職員の給与及び旅費に関する条例及び豊後高田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正につきましては、豊後高田市特別職報酬等審議会の答申に基づきまして、常勤特別職の給料月額2%減額措置の廃止及び豊後高田市議会政務活動費の増額について、所要の規定の整備を行うものでございます。

第58号議案の豊後高田市職員の給与に関する条例等の一部改正につきましては、国家公務員の給与に関する人事院勧告及び大分県人事委員会勧告等を勘

案し、一般職職員の給与並びに常勤特別職、議会議員の期末手当の改定について、所要の規定の整備を行うものでございます。

第61号議案の豊後高田市における部落差別をはじめあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例の一部改正につきましては、部落差別の解消の推進に関する法律その他の差別の解消を目的とした法令が施行されるなか、本市においても法の理念にのっとり、所要の規定の整備を行うものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

訂正をさせていただきます。

小中学校のICT環境整備事業の実施について本年度の早期の運用開始と申し上げましたが、来年度の誤りでございますので、修正をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（安達 隆君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

あすから12月10日まで休会いたします。

次の本会議は、12月11日、午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、あす正午までに提出願います。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時45分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長 安達 隆

豊後高田市議会議員 安達 かずみ

豊後高田市議会議員 中尾 勉